

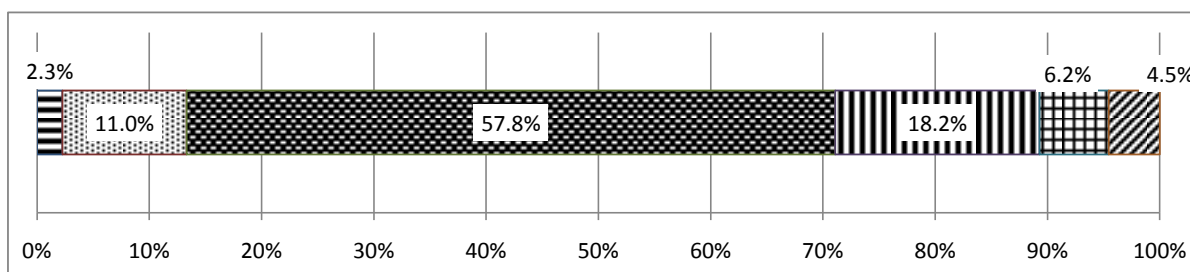
平成21年度 岩手県小・中学校の家庭学習に関する調査(小学校 教務主任)
 調査結果(県内小学校 308校/409校 75.3%)

【小学校教務主任調査】 質問1
 学校名の記述

【小学校教務主任調査】 質問2
 「新規入力」または「差し替え入力(修正入力)」の選択

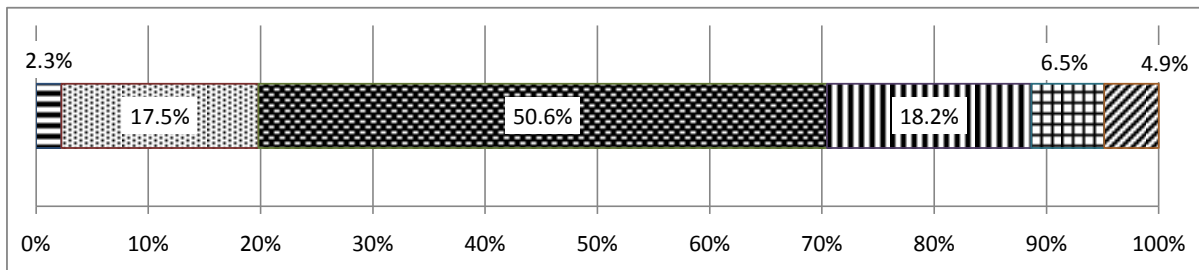
【小学校教務主任調査】 質問3
 1 学年学級数(特別支援学級を除く)

		回答数	割合
①	欠学年	7	2.3%
②	複式学級	34	11.0%
③	単学級	178	57.8%
④	2学級	56	18.2%
⑤	3学級	19	6.2%
⑥	4学級以上	14	4.5%



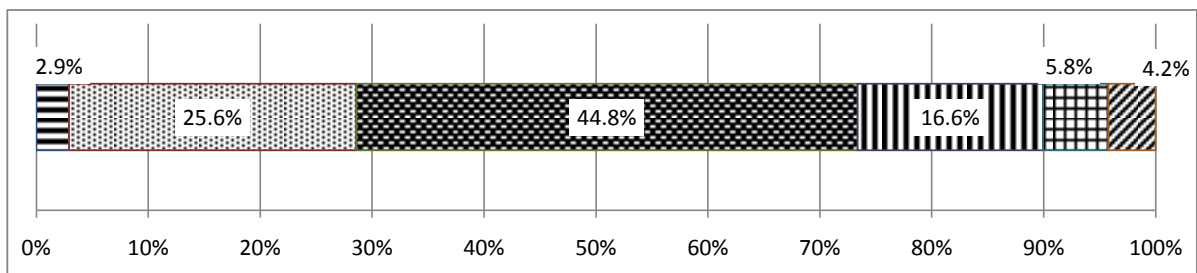
【小学校教務主任調査】 質問4
 2 学年学級数(特別支援学級を除く)

		回答数	割合
①	欠学年	7	2.3%
②	複式学級	54	17.5%
③	単学級	156	50.6%
④	2学級	56	18.2%
⑤	3学級	20	6.5%
⑥	4学級以上	15	4.9%



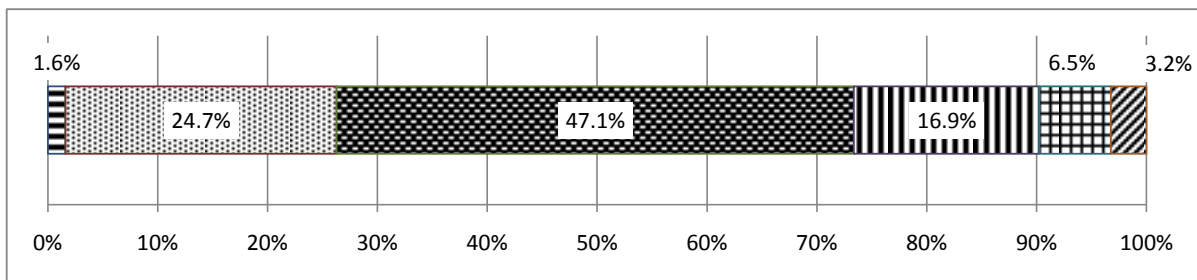
【小学校教務主任調査】 質問5
3学年学級数（特別支援学級を除く）

①	②	③	④	⑤	⑥	回答数	割合
欠学年	複式学級	単学級	2学級	3学級	4学級以上	9	2.9%
						79	25.6%
						138	44.8%
						51	16.6%
						18	5.8%
						13	4.2%



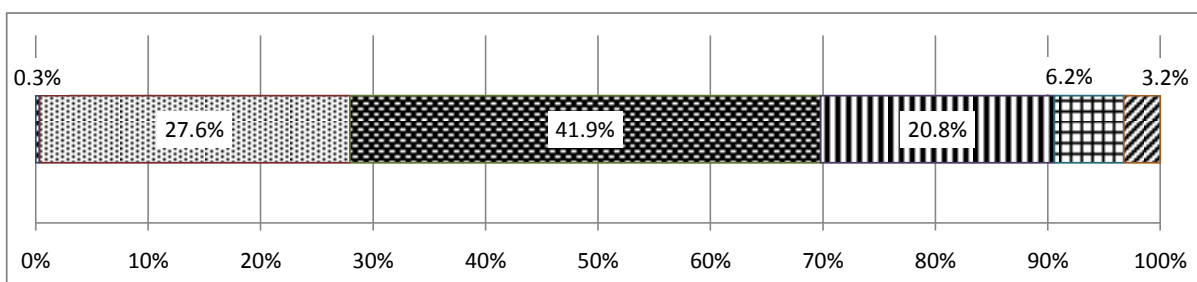
【小学校教務主任調査】 質問6
4学年学級数（特別支援学級を除く）

①	②	③	④	⑤	⑥	回答数	割合
欠学年	複式学級	単学級	2学級	3学級	4学級以上	5	1.6%
						76	24.7%
						145	47.1%
						52	16.9%
						20	6.5%
						10	3.2%



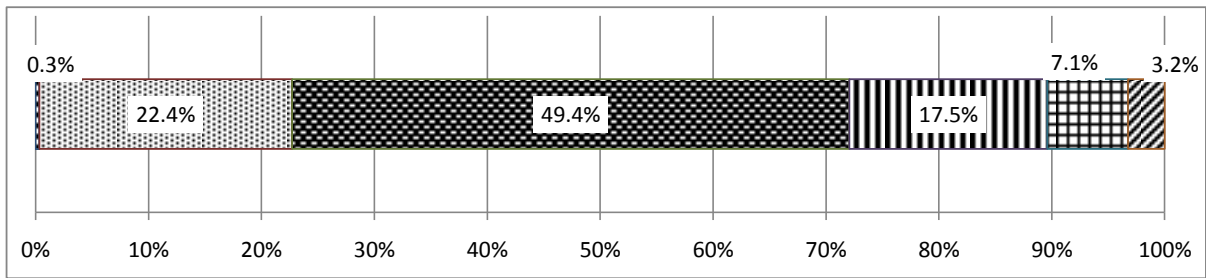
【小学校教務主任調査】 質問7
5学年学級数（特別支援学級を除く）

Category	回答数	割合
① 欠学年	1	0.3%
② 複式学級	85	27.6%
③ 単学級	129	41.9%
④ 2学級	64	20.8%
⑤ 3学級	19	6.2%
⑥ 4学級以上	10	3.2%



【小学校教務主任調査】 質問8
6学年学級数（特別支援学級を除く）

Category	回答数	割合
① 欠学年	1	0.3%
② 複式学級	69	22.4%
③ 単学級	152	49.4%
④ 2学級	54	17.5%
⑤ 3学級	22	7.1%
⑥ 4学級以上	10	3.2%

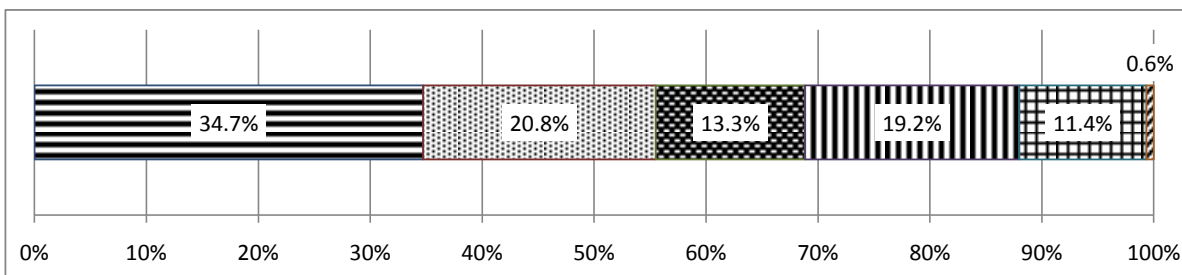


- 学年によって差はあるものの、どの学年も約半数が単学級である。
- 次いで複式学級、2学級、3学級、4学級、欠学年の順になっている。1学年と2学年は、2学級が複式学級より多い。

【小学校教務主任調査】 質問9

先日、発表された「平成21年度全国学力・学習状況調査」の自校の調査結果について、どのような対応を取りましたか。

		回答数	割合
①	教職員全員で調査結果を確認し、課題や方針等について協議を行った	107	34.7%
②	教職員全員で調査結果を確認したが、協議までは行わなかった	64	20.8%
③	担任等一部の教員のみで、調査結果を確認し、課題や方針等について協議を行った	41	13.3%
④	担任等一部の教員のみで、調査結果を確認したが、協議までは行わなかった	59	19.2%
⑤	確認や協議は行っていないが、今後行う予定である	35	11.4%
⑥	確認や協議は行っておらず、今後行う予定はない	2	0.6%

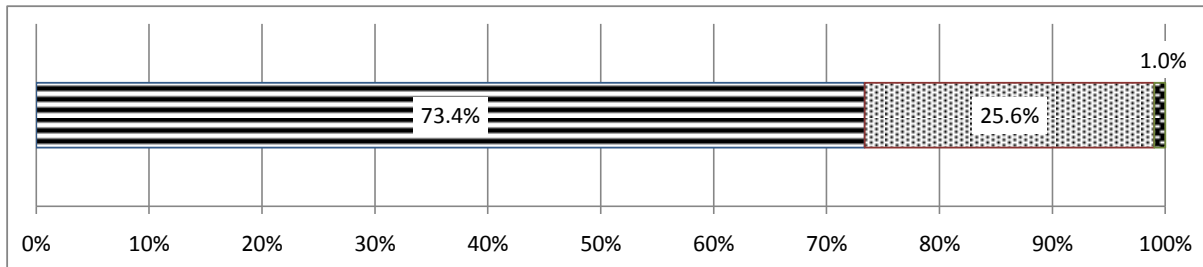


- 教職員全員で調査結果を確認したのは、協議を行った学校と協議を行わなかった学校を合わせ、55.5%である。
- 担任等一部の教員のみで確認しているのは、協議を行った・行わないを合わせ32.5%である。

【小学校教務主任調査】 質問10

授業や「宿題」で、各種学力調査の事後指導に取り組みましたか。

		回答数	割合
①	全ての学力調査において、事後指導に取り組んでいる	226	73.4%
②	一部の学力調査において、事後指導に取り組んでいる	79	25.6%
③	全ての学力調査において、事後指導に取り組んでいない	3	1.0%

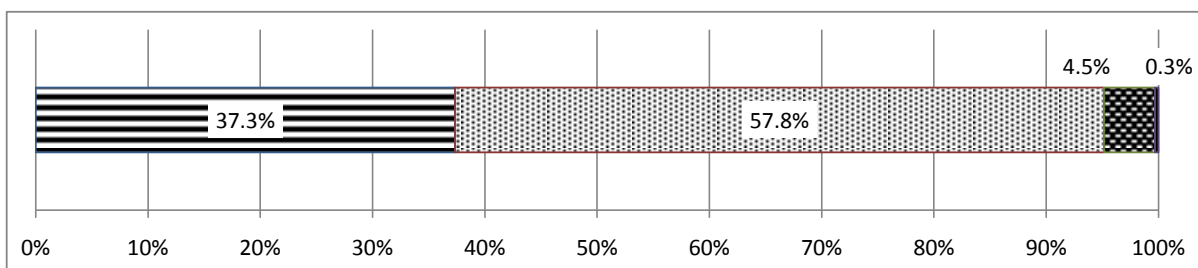


○授業や「宿題」で、学力調査の事後指導に取り組んでいる学校は、学力調査の全てと一部においてを合わせ、99%である。

【小学校教務主任調査】 質問11

各種学力調査の結果と、自校児童の「家庭学習」の実施状況との関係性について、どのように判断されますか。校内での協議結果、または回答者の判断でお答えください。

		回答数	割合
①	関係がある	115	37.3%
②	どちらかといえば関係がある	178	57.8%
③	どちらかといえば関係がない	14	4.5%
④	関係がない	1	0.3%



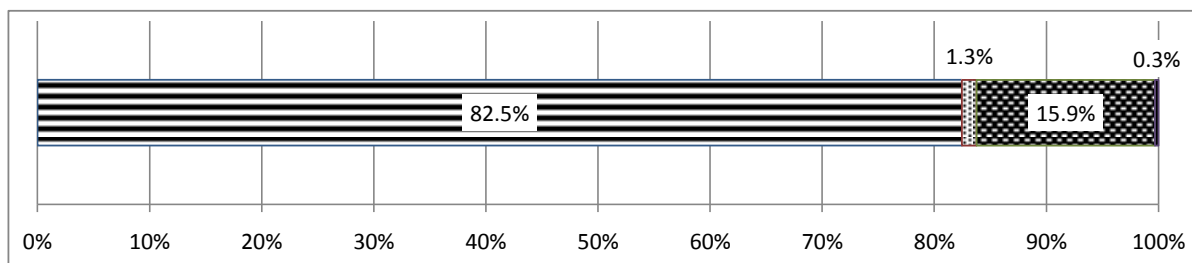
○学力調査の結果が、児童の「家庭学習」の実施状況と関係があると判断している学校（または回答者は）、どちらかといえば関係があると判断している学校（または回答者）を合わせて95.1%である。

ここからは平成20年度から今年度1学期（4～7月）に行った「家庭学習」指導に関してお答えください。（以下、質問19まで同じ）

【小学校教務主任調査】 質問12

学校全体の「家庭学習」指導方針があり、共通確認しましたか。

		回答数	割合
①	学校全体の指導方針が、教育計画の中に位置づけられ、職員会議等で確認した	254	82.5%
②	学校全体の指導方針が、教育計画の中に位置づけられているが、確認しなかった	4	1.3%
③	学校全体の指導方針が、教育計画の中に位置づけられていないが、職員会議等で「家庭学習」指導について、情報交換等をした	49	15.9%
④	学校全体の指導方針がなく、情報交換等もしなかった	1	0.3%

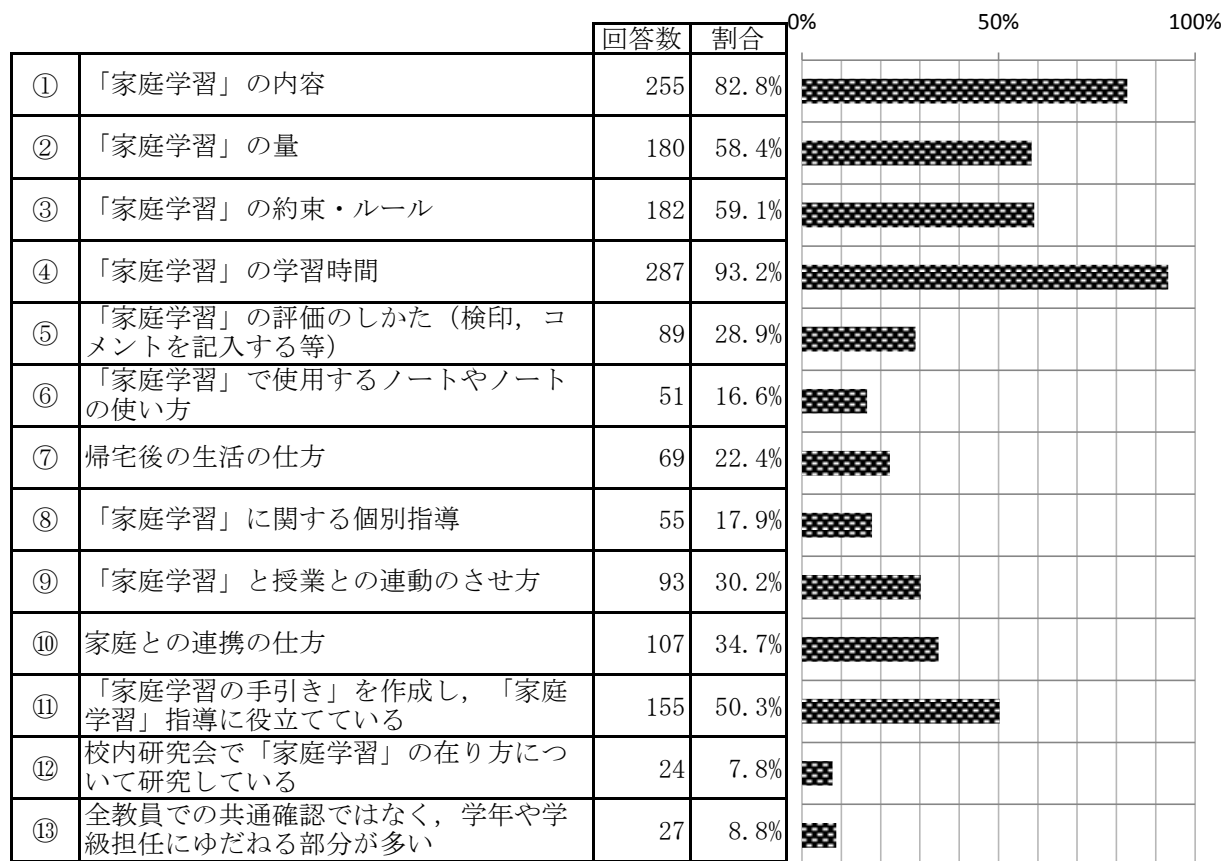


○学校全体の「家庭学習」指導方針が、教育計画の中に位置付けられているのは、職員会議等で確認した、確認しなかったを合わせて83.8%である。

○指導方針が教育計画の中に位置付けられていないと、指導方針がないを合わせて16.2%である。

【小学校教務主任調査】 質問13

「家庭学習」に関する具体的指導について、全教員で共通確認していることを以下から選んでください。（複数回答可）



- 具体的指導について、全教員で共通確認しているのは、多い順に学習時間93.1%、内容82.8%、約束・ルール59.1%、量58.4%、手引きの作成50.3%である。
- 家庭との連携の仕方34.7%、授業との連動のさせ方30.2%、評価の仕方、帰宅後の生活の仕方、個別指導、ノートの使い方についての共通確認は30%以下である。

【小学校教務主任調査】 質問14

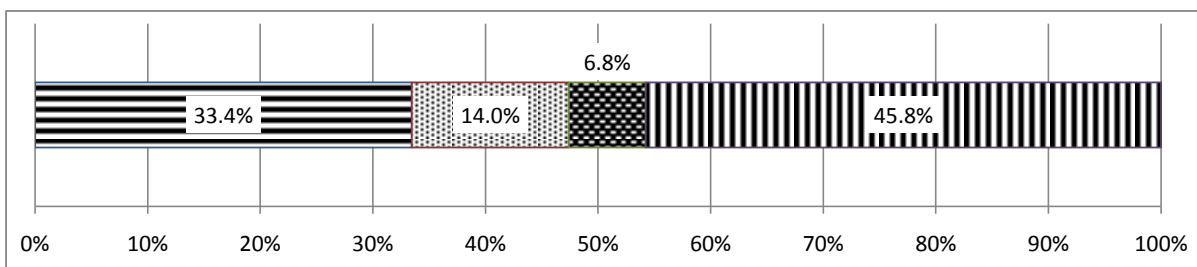
校内研究で家庭学習について研究している場合の主な内容

- ①発達段階に応じた具体的な指導と内容
- ②音読 漢字 百マス計算
- ③授業に連動する家庭学習の内容と生かし方
- ④授業と関連付けた家庭学習の取り組み
- ⑤各学年の内容と量、時間について
- ⑥家庭学習強化週間を設け、全校取り組みをする予定（11/14～）
- ⑦「書く活動」の内容（作文、日記等）・方法等をそれぞれの学年の実態にあわせ、家庭学習の中に取り入れていく
- ⑧強化週間を設け、内容の素晴らしいノートやプリントを校内展示し、児童の意欲の喚起につなげる
- ⑨各種調査結果の分析（学習時間等） 各学級の家庭学習の実態交流 家庭学習の指導法について
- ⑩授業で学んだことを復習させ、朝学習で小テストをする。 ・手引きのあり方。
- ⑪どのようにしたら内容の質を向上させられるか、実践や意見の交流をしている。
- ⑫授業と家庭学習の連動を図る
- ⑬10分×学年数 テレビを消す 読書は、低学年60冊、中学年40冊、高学年30冊 毎日の音読
- ⑭音読指導を全校で取り組む（音読カードの活用）
- ⑮校内研究の場で各学年の家庭学習の内容・指導法を発表し合い、望ましい在り方を共通理解している。
- ⑯校内研究ではありませんが、研究部で家庭学習強化週間を年2回設定し、全校で家庭と連携して実施しました。
- ⑰読書活動の推進
- ⑱研究主題「確かな読みの力をつける複式指導の在り方」において、授業とつなげる日常活動の一つに家庭学習をあげている。「家庭学習」では、課題、内容、振り返りを書かせている。
- ⑲学習習慣の確立と自主学習の意欲的・効果的なありかた
- ⑳家庭学習と授業の連動のさせ方 ・各学年の家庭学習の内容交流
- ㉑家庭学習の習慣作りのための基本的な事項（学習時間、学習用具等）の確認や家庭学習の学年に応じた内容など。
- ㉒質問13でチェックした内容 家庭学習調べの取り組み方など
- ㉓一人勉強のノート指導
- ㉔○宿題の内容 ・授業との関連性 ・各種学力テストの落ち込み回復 ○学習の進め方の手引き

【小学校教務主任調査】 質問15

家庭学習の実態や意識に関する、学校独自の調査を行いましたか。

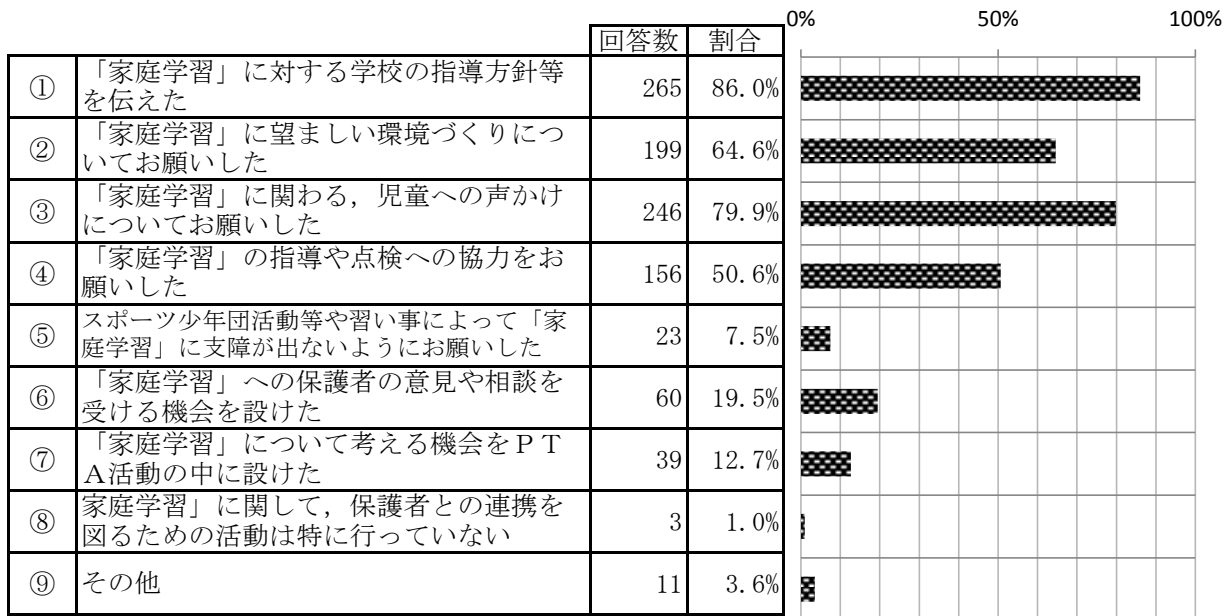
		回答数	割合
①	児童・保護者の両方に行った	103	33.4%
②	児童のみに行った	43	14.0%
③	保護者のみに行った	21	6.8%
④	どちらにも行わなかった	141	45.8%



○「家庭学習」の実態や意識に関する学校独自の調査を児童と保護者に行ったのは、両方、児童のみ、保護者のみを合わせて、54.2%である。

【小学校教務主任調査】 質問16

「家庭学習」に関して、保護者との連携を図るためにどのような活動を行いましたか。
(複数回答可)



○保護者との連携を図るために行った活動は、学校の指導方針等を伝えた86.0%、児童への声かけのお願い79.9%、望ましい環境づくりのお願い64.6%、指導や点検への協力のお願い50.6%である。

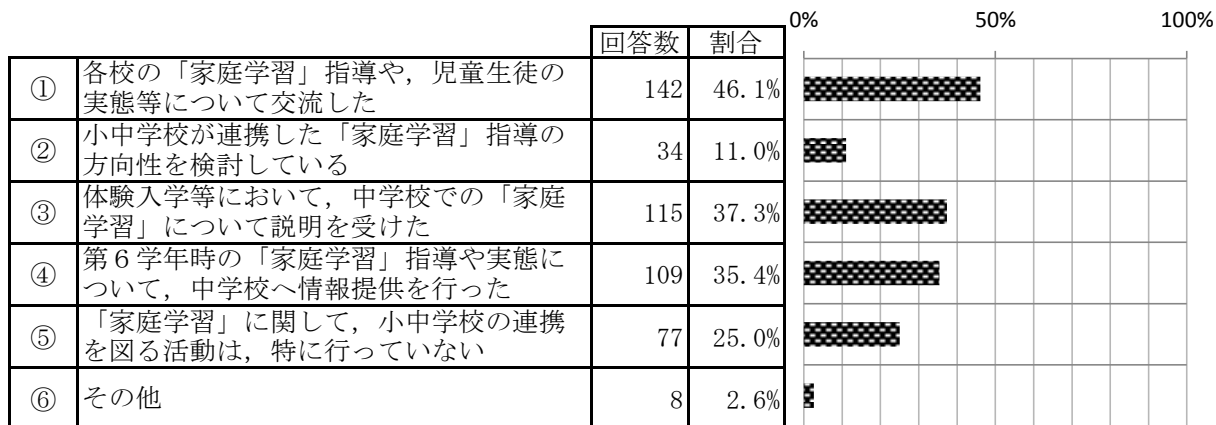
【小学校教務主任調査】 質問17

質問16で、その他を選択した方はその内容をお書きください。

- ①音読や漢字練習と計算の三項目について一枚のカードに盛り込んで 記入することを全校で統一して取り組むように共通理解を図った。
- ②年度当初や長期休業中前に家庭学習についてのお願いの文書を各家庭へ配布。
- ③「通信」で現在の学習内容や定着度等をお知らせし、意識付けを図れるよう、啓発活動を行っている。ノーテレビ、ノーゲーム運動の推進。
- ④学級懇談会で家庭学習をテーマにし交流があった。
- ⑤学級懇談会や地区懇談会で家庭学習をテーマにし交流があった。
- ⑥学校としてではなく、学年、学級単位で伝えた。
- ⑦学びフェストの中に項目として位置づけた。
- ⑧「小学校まなびフェスト」の1項目に「家庭学習の習慣化」を入れている。取組強化週間を設けたり、期末面談でも家庭学習についての取り組み方を話題にしたりして取り組んでいる。
- ⑨地区懇談会や学年懇談会の中で、状況の報告や家庭での頑張りの情報交換を行っている。学期末の懇談会の際に、全校での家庭学習での取り組みを掲示し、保護者への意欲喚起を図っている。
- ⑩「家庭学習頑張りカード」を活用した、家庭学習強化期間を設けた。
- ⑪「家庭学習の手引」作成による啓蒙活動
- ⑫音読や漢字練習と計算の三項目について一枚のカードに盛り込んで 記入することを全校で統一し
- ⑬長期休業（夏休み、冬休み、春休み）に点検と丸付け（低学年）の協力をお願いしている。
- ⑭「まなびフェスト」の中に位置づけ、各家庭への協力をお願いした。
- ⑮学級懇談会の話題にしたり、学級通信等で保護者に協力して頂きたいことを伝えた。

【小学校教務主任調査】 質問18

「家庭学習」に関して、小中学校の連携を図るため、どのような活動を行いましたか。（複数回答可）



○小中学校の連携を図るために行っている活動は、指導や児童生徒の実態等の交流46.1%、体験入学等での説明37.3%、中学校へ情報提供35.4%である。

【小学校教務主任調査】 質問19

質問18で、その他を選択した方はその内容をお書きください。

- ①7月に中学校を会場に、町内全ての小学校、中学校教員が中学校の授業を参観したり情報交換を行ったりした。その中で家庭学習に関する話題も俎上にのぼった。
- ②数学の中学校準備問題に取り組ませた（平成20年度）
- ③11月以降に6年生を対象とした「中学校体験入学」が3回予定されている。その時に、本校での家庭学習についての取り組みや6年生の実態を伝え、中学校との連携を図る予定である。
- ④家庭学習強化月間を同時に取り組んだ。
- ⑤昨年度末、中学校内の教務主任同士で家庭学習についての情報交換を行った。このことを踏まえて、今年度の家庭学習の内容を検討し、実践を行なっている。まだ実践中であり、中学校区
- ⑥6年生の3学期に、進学に向けて中学校からの課題が出されてくる。それに合わせて、家庭学習で問題の取り組み方などの指導を行い、中学校への橋渡しとしている。
- ⑦家庭学習取組強化日程を、中学校の取り組みに合わせて実施している。
- ⑧3学期に、小学校から中学校へ6年生の家庭学習の取り組み方を知らせ、中学校での取り組みがスムーズにいくようにしている。